

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書（護岸概成時）

（令和7年5月分）

【海域生態系調査】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

- 1. 調査概要 I - 1
- 2. 調査結果の概要 I - 4

II 事後調査結果

- 1. 海域生態系調査 II - 1

I 事後調査の概要

1. 調査概要

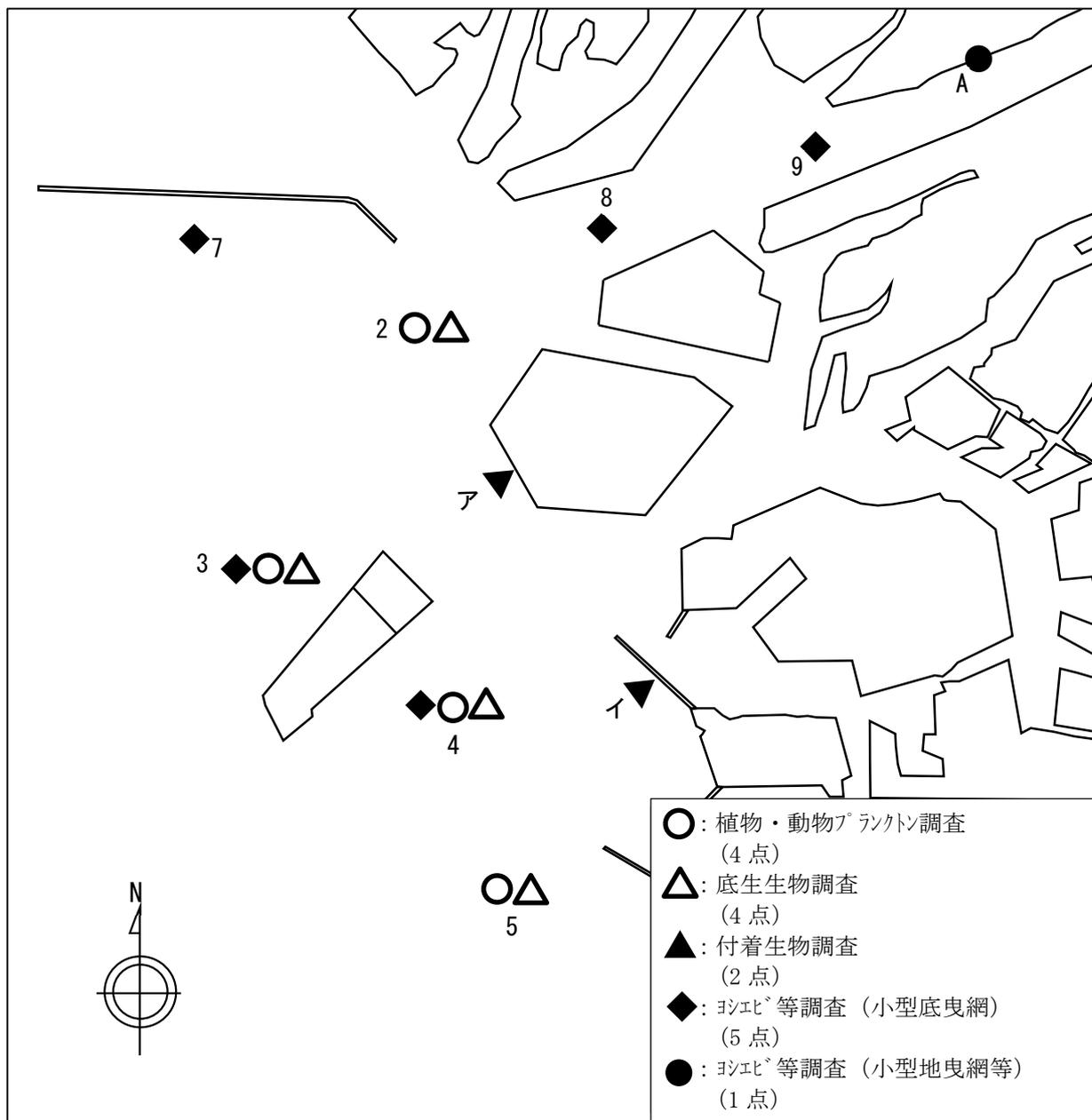
「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和7年5月の事後調査(海域生態系調査)の概要は表-1に、調査点の位置は図-1に示すとおりである。

表-1 事後調査(海域生態系調査)の概要(令和7年5月)

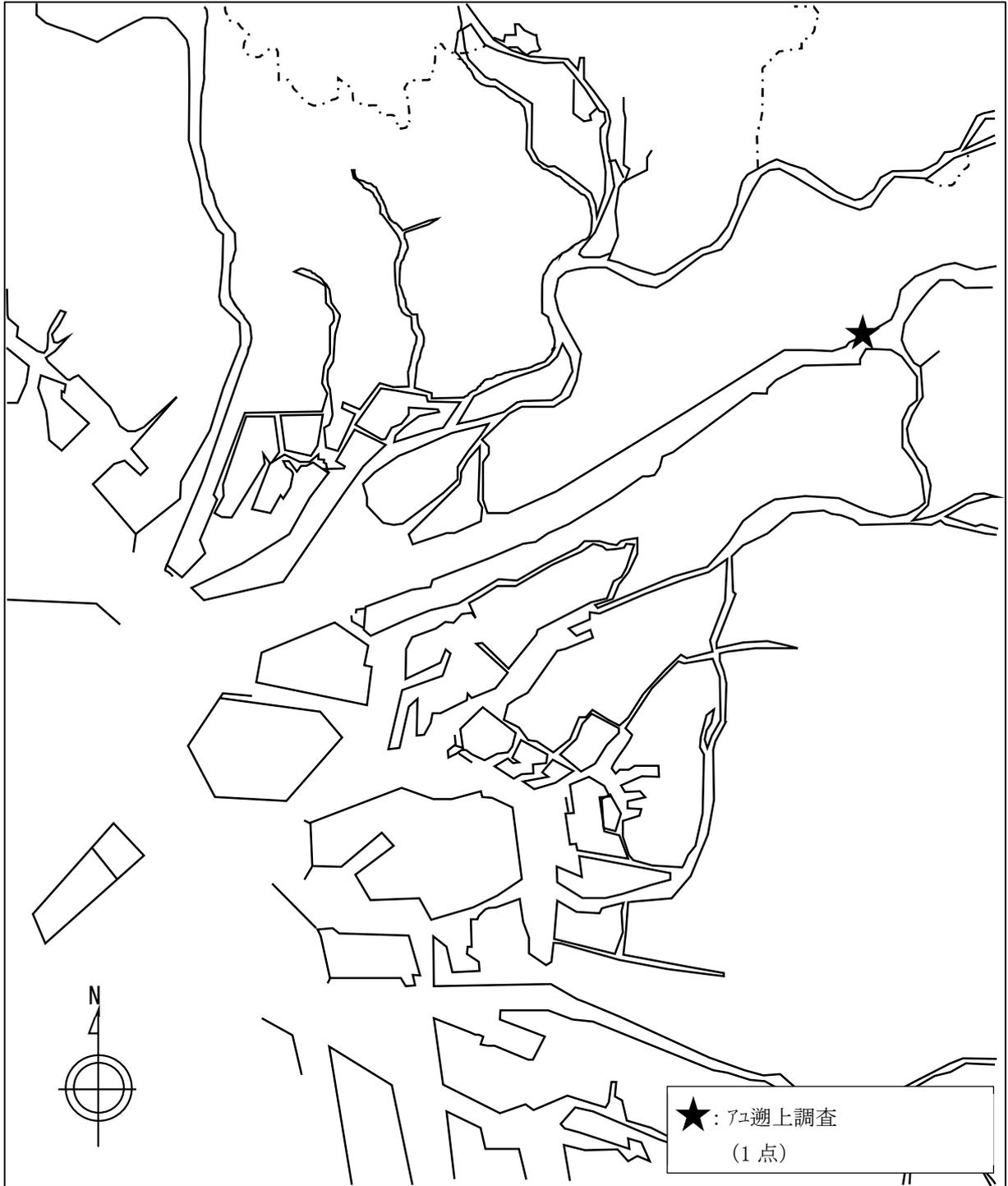
(8) 海域生態系

調査項目		調査範囲・調査点	調査頻度	調査期間	調査方法(試料採取方法)		
植物プランクトン調査	種組成、細胞数	4点×2層 【2, 3, 4, 5】 (海面下1m、海底面上2m)	4回 (2, 5, 8, 11月)	5月19日	ハンドポンプ型採水器を用いて採水し、室内分析を行う。		
動物プランクトン調査	種組成、個体数	4点×1層 【2, 3, 4, 5】 (鉛直曳き)	4回 (2, 5, 8, 11月)	5月19日	北原式定量ネットを用いて採取し、室内分析を行う。		
底生生物調査	種組成、個体数、湿重量	4点 【2, 3, 4, 5】	2回 (2, 8月)	—	スミス・マッキンタイヤー型採泥器を用いて採取し、室内分析を行う。		
付着生物調査①	種組成、個体数、湿重量	2点3層 【7, 1】 (平均水面、大潮期最低潮面、大潮期最低潮面-1m)	4回 (2, 5, 8, 11月)	5月14日	ダイバーによる目視観察及び枠取り調査を行う。		
付着生物調査②	ムサシイガイ現存量調査	2点 【7, 1】	4回 (2, 5, 8, 11月)	5月14日	ダイバーによる目視観察及び枠取り調査を行う。 枠取り調査ではムサシイガイの分布が比較的均質な場所を選び、分布層の上位・中位・下位の3層で採集する。 また、目視観察では0.5~1m毎に被度と厚みを測定する。		
水産生物①	ヨシエビ等現存量調査	小型底曳網調査	種別個体数、全長 【3, 4, 7, 8, 9】	5点	12回 (毎月)	5月18日 5月24日	カバネットを付けた石桁網又はこれと同等の漁具を用い曳網を行う。
		水温、塩分、DO					船上より測定器を垂下し、1m ² 毎で測定する。
水産生物②	ヨシエビ等現存量調査	小型地曳網等調査	種別個体数、全長	淀川の岸辺1点	4回/年 (3, 4, 10, 11月)	—	淀川の岸辺で小型地曳網等を用いて曳網を行う。
		水温、塩分					採水し、機器測定を行う。
水産生物③	アユ遡上調査	遡上量、水温	淀川大堰の魚道(長柄橋上流)	4回/年 (4~6月)	—	淀川大堰の魚道において、1時間毎に10分間、個体数の計数を24時間行う。 (計数時には水温を測定)※)	

備考) ※アユ遡上調査については、淀川大堰魚道でのIPカメラによる計数結果を整理した。



図—1 (1) 海域生態系調査点 (アユ遡上調査を除く) (令和7年5月)



図—1 (2) 海域生態系調査点 (アユ遡上調査) (令和7年5月)

2. 調査結果の概要

(1) 海域生態系調査

1) 植物プランクトン【海域生態系様式 1 号】

植物プランクトンの調査点別出現種類数は上層（海面下 1m）では 51～68 種数、下層（海底面上 2m）では 36～43 種数、細胞数は上層では、26, 248, 700～42, 046, 800cells/L、下層では、390, 900～1, 242, 600cells/L の範囲にあった。沈殿量は上層では、1. 02～2. 56mL/L、下層では、0. 20～1. 14mL/L であった。

細胞数による主な出現種は、上層は *Skeletonema costatum* complex、下層では *Leptocylindrus danicus*、*Skeletonema costatum* complex であった。

2) 動物プランクトン【海域生態系様式 2 号】

動物プランクトンの調査点別出現種類数は 15～25 種数、個体数は、13, 164～36, 620 個体/m³ であった。沈殿量は 2. 6～6. 4mL/m³ であった。

個体数による主な出現種は、nauplius of COPEPODA、*Synchaeta* sp. であった。

3) 底生生物【海域生態系様式 3 号】

5 月は調査なし。

4) 付着生物①【海域生態系様式 4、5 号】

付着植物の出現種類数（各層の合計）は、調査点アで緑藻綱 2 種類、紅藻綱 3 種類の計 5 種類であり、調査点イで緑藻綱 3 種類、紅藻綱 4 種類の計 7 種類であった。

各層の湿重量は、調査点アでは 0. 01～19. 16g/0. 1 m²、調査点イでは 0. 10～1. 60g/0. 1 m² の範囲であった。

湿重量による主な出現種は、調査点ア及び調査点イともにイギス属、アオサ属、シオグサ属であった。

付着動物の出現種数（各層の合計）は、調査点アで軟体動物門 20 種類、環形動物門 25 種類、節足動物門 21 種類、その他 14 種類の計 80 種類であり、調査点イで軟体動物門 14 種類、環形動物門 23 種類、節足動物門 18 種類、その他 11 種類の計 66 種類であった。

各層の個体数は、調査点アで 1, 442～10, 118 個体/0. 1 m²、調査点イで 1, 424～2, 754 個体/0. 1 m² の範囲にあった。

個体数による主な出現種は、調査点アでは *Phoronis* sp.、キヌマトイガイであり、調査点イではキヌマトイガイ、ウミミズムシ、コウロエンカワヒバリガイ、ユンボソコエビ科であった。

5) 付着生物②【海域生態系様式 6 号】

粹取り調査では、ムラサキイガイは調査点アで 67~216 個体/0.25 m²、調査点イで 53~116 個体/0.25 m²確認された。また、湿重量は調査点アで 4.87~20.95 g/0.25 m²、調査点イで 7.86~17.75 g/0.25 m²であった。

目視観察では、調査点アの水深 0.0~1.0m で被度階級 r、層厚 8mm、調査点イの水深 0.0~1.0m で被度階級 r、層厚 7~10mm が確認された。

6) 水産生物(ヨシエビ等) (小型底曳網調査) 【海域生態系様式 7、8 号】

水温は、水深 0.5m で 18.9~20.8℃、海底面上 1.0m で 15.2~17.8℃の範囲であった。

塩分は、水深 0.5m で 13.6~26.4、海底面上 1.0m で 29.9~32.6 の範囲にあった。

溶存酸素量 (D0) は、水深 0.5m で 6.5~11.4mg/L、海底面上 1.0m で 4.9~8.7mg/L の範囲にあり、D0 飽和度は水深 0.5m で 79.1~143.2%、海底面上 1.0m で 60.8~109.1%の範囲にあった。

生物の出現種数は、全調査点の合計で魚類 14 種類、甲殻類 5 種類、頭足類 2 種類、その他 4 種類の計 25 種類であった。

個体数は、魚類は 5~385 個体、甲殻類が 0~40 個体、頭足類が 0~2 個体、その他が 0~83 個体の範囲にあり、湿重量は、魚類が 167.8~11,639.2 g、甲殻類が 0~55.9 g、頭足類が 0~297.5 g、その他が 0~719.2 g の範囲にあった。

個体数による主な出現種はハタタテヌメリ、トリガイであり、ハタタテヌメリは調査点 3、4、7 で、トリガイは調査点 3、7、8 で主要種となった。

湿重量による主な出現種は、アカエイ、クロダイであり、アカエイは調査点 3、7、8、9 で、クロダイは調査点 3 で主要種となった。

7) 水産生物(ヨシエビ等) (小型地曳網等調査) 【海域生態系様式 9 号】

5 月は調査なし。

8) 水産生物(アユ遡上調査) 【海域生態系様式 10 号】

年報にまとめて結果を記載する予定。

II 事後調查結果

植物プランクトン調査結果 (1) [令和7年5月分]

調査日：令和7年5月19日

項目	調査点	
	上層	下層
種類数	68	43
細胞数 [cells/L]	26,248,700	1,242,600
沈殿量 [mL/L]	1.17	0.21
主要種 細胞数[%]	<i>Skeletonema costatum</i> complex 24,166,400 (92.1)	<i>Skeletonema costatum</i> complex 597,500 (48.1) <i>Leptocylindrus danicus</i> 552,000 (44.4)

項目	調査点	
	上層	下層
種類数	51	38
細胞数 [cells/L]	35,128,200	1,055,700
沈殿量 [mL/L]	1.02	0.20
主要種 細胞数[%]	<i>Skeletonema costatum</i> complex 33,894,400 (96.5)	<i>Leptocylindrus danicus</i> 680,000 (64.4) <i>Skeletonema costatum</i> complex 270,400 (25.6)

項目	調査点	
	上層	下層
種類数	62	37
細胞数 [cells/L]	30,957,300	882,400
沈殿量 [mL/L]	1.59	1.14
主要種 細胞数[%]	<i>Skeletonema costatum</i> complex 29,798,400 (96.3)	<i>Skeletonema costatum</i> complex 412,800 (46.8) <i>Leptocylindrus danicus</i> 371,200 (42.1)

注) 1. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。

2. 主要種は、各調査点・各層での上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

植物プランクトン調査結果 (2) [令和7年5月分]

調査日：令和7年5月19日

項目	調査点	
	5	
	上層	下層
種類数	52	36
細胞数 [cells/L]	42,046,800	390,900
沈殿量 [mL/L]	2.56	0.84
主要種 細胞数[%]	<i>Skeletonema costatum</i> complex 38,195,200 (90.8)	<i>Leptocylindrus danicus</i> <i>Skeletonema costatum</i> complex 156,000 (39.9) 152,800 (39.1)

項目	調査点	
	平均	
	上層	下層
種類数	82	57
細胞数 [cells/L]	33,595,250	892,900
沈殿量 [mL/L]	1.59	0.60
主要種 細胞数[%]	<i>Skeletonema costatum</i> complex 31,513,600 (93.8)	<i>Leptocylindrus danicus</i> <i>Skeletonema costatum</i> complex 439,800 (49.3) 358,375 (40.1)

- 注) 1. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。
 2. 主要種は、各調査点・各層での上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

動物プランクトン調査結果 [令和7年5月分]

調査日：令和7年5月19日

項目 \ 調査点	2	3
種類数	25	15
個体数 [個体/m ³]	36,620	13,164
沈殿量 [mL/m ³]	3.6	4.6
主要種 個体数[%]	nauplius of COPEPODA 11,379 (31.1) <i>Synchaeta</i> sp. 5,431 (14.8) <i>Oithona</i> sp. 4,397 (12.0)	nauplius of COPEPODA 3,395 (25.8) <i>Evadne nordmanni</i> 2,047 (15.5) umbo larva of BIVALVIA 1,628 (12.4)

項目 \ 調査点	4	5
種類数	18	23
個体数 [個体/m ³]	27,340	14,577
沈殿量 [mL/m ³]	2.6	6.4
主要種 個体数[%]	nauplius of COPEPODA 6,761 (24.7) <i>Synchaeta</i> sp. 5,070 (18.5) <i>Oithona</i> sp. 2,958 (10.8) <i>Evadne nordmanni</i> 2,746 (10.0) <i>Oithona similis</i> 2,746 (10.0)	<i>Oithona similis</i> 2,169 (14.9) <i>Synchaeta</i> sp. 1,492 (10.2) <i>Evadne nordmanni</i> 1,458 (10.0)

項目 \ 調査点	平均
種類数	29
個体数 [個体/m ³]	22,925
沈殿量 [mL/m ³]	4.3
主要種 個体数[%]	nauplius of COPEPODA 5,672 (24.7) <i>Synchaeta</i> sp. 3,254 (14.2)

注) 1. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。

2. 主要種は各調査点での上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

付着生物調査結果（付着植物）（1）

[令和7年5月分]

調査日：令和7年5月14日

項目	調査点層	ア			平均
		上層	中層	下層	
種類数	緑藻綱	1	2	2	2
	褐藻綱				
	紅藻綱	2	3	2	3
	その他				
	合計	3	5	4	5
湿重量 [g]	緑藻綱	0.01	10.68	0.22	3.64
	褐藻綱				
	紅藻綱	+	8.48	12.29	6.92
	その他				
	合計	0.01	19.16	12.51	10.56
湿重量 組成比 [%]	緑藻綱	100.0	55.7	1.8	34.4
	褐藻綱				
	紅藻綱	+	44.3	98.2	65.6
	その他				
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0
主要種 湿重量[%]		アサ属 0.01 (100.0)	イサ属 8.00 (41.8) アサ属 6.22 (32.5) シオガサ属 4.46 (23.3)	イサ属 11.69 (93.4)	イサ属 6.56 (62.2) アサ属 2.11 (19.9) シオガサ属 1.53 (14.5)

- 注) 1. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。
 2. 湿重量は0.1m²当たりで示す。湿重量が0.01g未満の場合、または、湿重量組成比が0.1%未満の場合、湿重量及び湿重量組成比は+で示す。
 3. 主要種は各調査点・各層での上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。
 4. 上層：平均水面 中層：大潮期最低潮面 下層：大潮期最低潮面-1mである。

付着生物調査結果（付着植物）（2）

[令和7年5月分]

調査日：令和7年5月14日

項目	調査点層	イ			平均
		上層	中層	下層	
種類数	緑藻綱	1	2	2	3
	褐藻綱				
	紅藻綱	1	2	2	4
	その他				
	合計	2	4	4	7
湿重量 [g]	緑藻綱	0.10	1.56	+	0.55
	褐藻綱				
	紅藻綱	+	0.04	0.91	0.32
	その他				
	合計	0.10	1.60	0.91	0.87
湿重量 組成比 [%]	緑藻綱	100.0	97.5	+	63.6
	褐藻綱				
	紅藻綱	+	2.5	100.0	36.4
	その他				
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0
主要種 湿重量[%]	ハネ属 0.10 (100.0)	アサ属 0.78 (48.8) シクサ属 0.78 (48.8)	イダ属 0.75 (82.4) ハネ属 0.16 (17.6)	イダ属 0.26 (30.3) アサ属 0.26 (29.9) シクサ属 0.26 (29.9)	

- 注) 1. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。
 2. 湿重量は0.1m²当たりで示す。湿重量が0.01g未満の場合、または、湿重量組成比が0.1%未満の場合、湿重量及び湿重量組成比は+で示す。
 3. 主要種は各調査点・各層での上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。
 4. 上層：平均水面 中層：大潮期最低潮面 下層：大潮期最低潮面-1mである。

付着生物調査結果（付着動物）（1） [令和7年5月分]

調査日：令和7年5月14日

項目	調査点層	ア			平均
		上層	中層	下層	
種類数	軟体動物門	11	8	13	20
	環形動物門	6	8	24	25
	節足動物門	9	15	14	21
	その他	3	9	12	14
	合計	29	40	63	80
個体数	軟体動物門	749	272	2,378	1,133
	環形動物門	159	61	1,885	702
	節足動物門	421	2,290	1,595	1,435
	その他	113	24	4,260	1,466
	合計	1,442	2,647	10,118	4,736
個体数組成比 [%]	軟体動物門	51.9	10.3	23.5	23.9
	環形動物門	11.0	2.3	18.6	14.8
	節足動物門	29.2	86.5	15.8	30.3
	その他	7.8	0.9	42.1	30.9
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0
湿重量 [g]	軟体動物門	68.86	10.25	51.89	43.67
	環形動物門	5.48	2.16	42.65	16.76
	節足動物門	10.16	3.30	4.63	6.03
	その他	7.90	24.01	125.34	52.42
	合計	92.40	39.72	224.51	118.88
主要種 個体数 [%]	ウスカテシオツガイ 320 (22.2) コウロエンカリハ ^ル リカ ^イ 256 (17.8) モクス ^ク ヨコビ ^ク 科 192 (13.3)	テツコエビ ^ク 属 896 (33.8) シホ ^ク ソコエビ ^ク 科 752 (28.4) カミズ ^ク ムシ 420 (15.9)	Phoronis sp. 3,968 (39.2) キヌマトイ ^ク イ 1,984 (19.6)	Phoronis sp. 1,323 (27.9) キヌマトイ ^ク イ 711 (15.0)	

- 注) 1. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。
 2. 個体数、湿重量は0.1m²当たりで示す。湿重量が0.01g未満の場合、湿重量は+で示す。
 3. 主要種は各調査点・各層での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。
 4. 上層：平均水面 中層：大潮期最低潮面 下層：大潮期最低潮面-1mである。

付着生物調査結果（付着動物）（2） [令和7年5月分]

調査日：令和7年5月14日

項目	調査点層	イ			平均
		上層	中層	下層	
種類数	軟体動物門	10	10	8	14
	環形動物門	5	20	18	23
	節足動物門	8	12	13	18
	その他	3	9	7	11
	合計	26	51	46	66
個体数	軟体動物門	707	1,170	960	946
	環形動物門	160	302	615	359
	節足動物門	429	1,208	491	709
	その他	128	74	91	98
	合計	1,424	2,754	2,157	2,112
個体数 組成比 [%]	軟体動物門	49.6	42.5	44.5	44.8
	環形動物門	11.2	11.0	28.5	17.0
	節足動物門	30.1	43.9	22.8	33.6
	その他	9.0	2.7	4.2	4.6
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0
湿重量 [g]	軟体動物門	104.75	205.43	88.39	132.86
	環形動物門	4.54	6.51	27.38	12.81
	節足動物門	2.67	18.41	1.50	7.53
	その他	15.20	20.91	31.22	22.44
	合計	127.16	251.26	148.49	175.64
主要種 個体数[%]	モクス ^o ヨコヒ ^o 科 320 (22.5)	キヌマトイカ ^o イ 576 (20.9)	キヌマトイカ ^o イ 704 (32.6)	キヌマトイカ ^o イ 448 (21.2)	
	コウロエンカリビハ ^o リカ ^o イ 272 (19.1)	ウミス ^o ムシ 528 (19.2)	ウミス ^o ムシ 232 (10.8)	ウミス ^o ムシ 256 (12.1)	
	ウスカラシオツカ ^o イ 272 (19.1)	エンボ ^o ソコヒ ^o 科 464 (16.8)		コウロエンカリビハ ^o リカ ^o イ 232 (11.0)	
		ウスカラシオツカ ^o イ 304 (11.0)		エンボ ^o ソコヒ ^o 科 216 (10.2)	

- 注) 1. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。
 2. 個体数、湿重量は0.1m²当たりで示す。湿重量が0.01g未満の場合、湿重量は+で示す。
 3. 主要種は各調査点・各層での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。
 4. 上層：平均水面 中層：大潮期最低潮面 下層：大潮期最低潮面-1mである。

付着生物調査結果（ムラサキイガイ現存量調査） [令和7年5月]

調査日：令和7年5月14日

① 枠取り調査

項目	調査点	ア	イ	平均
	個体数	上位	216	116
中位		91	116	104
下位		67	53	60
湿重量[g]	上位	20.95	11.51	16.23
	中位	9.55	17.75	13.65
	下位	4.87	7.86	6.37

注) 個体数、湿重量は0.25m²当たりで示す。

調査日：令和7年5月14日

② 目視観察

水深[m]	調査点	ア		イ	
		被度階級	層厚[mm]	被度階級	層厚[mm]
+1.0 ~ +0.5					
+0.5 ~ 0.0					
0.0 ~ -0.5		r	8~8	r	7~8
-0.5 ~ -1.0		r	8~8	r	10~10
-1.0 ~ -1.5					
-1.5 ~ -2.0					
-2.0 ~ -2.5					
-2.5 ~ -3.0					
-3.0 ~ -3.5					
-3.5 ~ -4.0					
-4.0 ~ -4.5					
-4.5 ~ -5.0					
-5.0 ~ -5.5					
-5.5 ~ -6.0					
-6.0 ~ -6.5					
-6.5 ~ -7.0					
-7.0 ~ -7.5					
-7.5 ~ -8.0					

注) 被度階級は以下のとおりである。

被度	被覆率[%]
5	76~100
4	51~75
3	26~50
2	10~25
1	<10
r	<1

水産生物調査結果（小型底曳網調査①）（1） [令和7年5月分]

調査日：令和7年5月18日、24日

項目		調査点		
		3	4	7
種類数	魚類	7	5	11
	甲殻類(エビ・カニ類)	2	3	2
	頭足類(イカ・タコ類)	1		1
	その他	1	3	1
	合計	11	11	15
個体数	魚類	33	61	385
	甲殻類(エビ・カニ類)	4	40	13
	頭足類(イカ・タコ類)	1		2
	その他	7	4	83
	合計	45	105	483
湿重量 [g]	魚類	5,994.2	167.8	8,486.3
	甲殻類(エビ・カニ類)	19.7	55.9	37.1
	頭足類(イカ・タコ類)	297.5		2.2
	その他	47.5	194.0	719.2
	合計	6,358.9	417.7	9,244.8
主要種 個体数[%]		マコガレイ 11 (24.4) ハタタテメリ 10 (22.2) トリカエイ 7 (15.6)	ハタタテメリ 44 (41.9) スヘスヘエビ 24 (22.9) テンジクタイ 12 (11.4) アカエビ 11 (10.5)	ハタタテメリ 335 (69.4) トリカエイ 83 (17.2)
主要種 湿重量[%]		クロタイ 3,820.7 (60.1) アカエイ 2,009.2 (31.6)	アカカエイ 161.3 (38.6) ハタタテメリ 107.4 (25.7)	アカエイ 7,050.5 (76.3)
主要種の 全長[cm] (平均値)	アカカエイ		8.0	
	トリカエイ	3.9	5.1	4.0
	アカエビ		4.7	
	スヘスヘエビ		3.8	
	アカエイ	83.2		61.6
	テンジクタイ		5.4	4.7
	クロタイ	38.7		
	ハタタテメリ	8.9	7.0	7.7
	メイトガレイ	10.0	12.2	8.6
マコガレイ	7.6	8.0	7.3	

- 注) 1. 個体数、湿重量は1網当たりで示す。
 2. 主要種は各調査点での個体数または湿重量の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。
 3. 主要種の全長欄の「マコガレイ」類は殻長を示す。

水産生物調査結果（小型底曳網調査①）（2） [令和7年5月分]

調査日：令和7年5月18日、24日

項目		調査点		
		8	9	平均
種類数	魚類	5	3	14
	甲殻類(エビ・カニ類)			5
	頭足類(イカ・タコ類)			2
	その他	4		4
	合計	9	3	25
個体数	魚類	27	5	102
	甲殻類(エビ・カニ類)			11
	頭足類(イカ・タコ類)			1
	その他	12		21
	合計	39	5	135
湿重量 [g]	魚類	11,639.2	889.3	5,435.4
	甲殻類(エビ・カニ類)			22.5
	頭足類(イカ・タコ類)			59.9
	その他	222.8		236.7
	合計	11,862.0	889.3	5,754.5
主要種 個体数[%]	アカエイ 21 (53.8) トリカゴイ 8 (20.5)	アカエイ 3 (60.0) メイカゴレイ 1 (20.0) マコカゴレイ 1 (20.0)	ハタタテヌメリ 78 (57.5) トリカゴイ 20 (14.8)	
主要種 湿重量[%]	アカエイ 11,124.3 (93.8)	アカエイ 876.3 (98.5)	アカエイ 4,212.1 (73.2) クロタゴイ 764.1 (13.3)	
主要種の 全長[cm] (平均値)	アカゴイ	5.8		6.9
	トリカゴイ	4.5		4.1
	アカエビ			4.7
	スヘスヘエビ			3.8
	アカエイ	48.2	40.9	51.2
	テンジクカゴイ			5.0
	クロタゴイ			38.7
	ハタタテヌメリ			7.5
	メイカゴレイ	8.4	8.4	9.5
マコカゴレイ	6.7	7.1	7.4	

- 注) 1. 個体数、湿重量は1網当たりで示す。
 2. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。
 3. 主要種は各調査点での個体数または湿重量の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。
 4. 主要種の全長欄のメイカゴイ類は殻長を示す。

海域生態系様式第8号

水産生物調査結果（小型底曳網調査②） [令和7年5月分]

調査日：令和7年5月18日

調査点：3

項目 水深[m]	水温[°C]	塩分[-]	DO[mg/l]	DO飽和度 [%]
0.5	20.2	17.8	9.1	112.2
1.0	18.8	27.3	9.6	122.2
2.0	18.1	29.5	10.0	127.5
3.0	17.9	30.4	9.8	124.5
4.0	17.6	31.2	9.6	121.2
5.0	17.6	31.5	9.2	116.4
6.0	17.6	31.6	9.0	114.9
7.0	17.6	31.6	9.0	114.5
8.0	17.6	31.6	9.0	114.3
9.0	17.5	31.7	9.0	113.9
10.0	17.5	31.7	9.0	113.8
11.0	17.5	31.7	9.0	113.7
12.0	17.3	31.8	8.9	113.3
13.0	17.1	31.9	8.9	112.2
14.0				
15.0				
16.0				
17.0				
18.0				
19.0				
20.0				
海底面上1.0	16.7	32.0	8.7	109.1

海域生態系様式第8号

水産生物調査結果（小型底曳網調査②） [令和7年5月分]

調査日：令和7年5月24日

調査点：4

項目 水深[m]	水温[°C]	塩分[-]	DO[mg/l]	DO飽和度 [%]
0.5	18.9	26.4	11.4	143.2
1.0	18.8	26.8	11.2	141.8
2.0	18.0	28.7	10.1	126.4
3.0	17.2	31.0	7.8	98.1
4.0	16.9	31.6	7.7	95.9
5.0	16.8	32.2	7.1	88.8
6.0	16.4	32.3	6.6	82.6
7.0	16.5	32.5	6.4	80.4
8.0	16.3	32.6	6.5	81.5
9.0	16.4	32.6	6.6	82.7
10.0	16.4	32.6	6.6	82.4
11.0	16.4	32.6	6.6	82.4
12.0	16.0	32.6	6.3	78.3
13.0				
14.0				
15.0				
16.0				
17.0				
18.0				
19.0				
20.0				
海底面上1.0	16.0	32.6	5.9	73.6

海域生態系様式第8号

水産生物調査結果（小型底曳網調査②） [令和7年5月分]

調査日：令和7年5月18日

調査点：7

項目 水深[m]	水温[°C]	塩分[-]	DO[mg/l]	DO飽和度 [%]
0.5	20.8	13.6	9.7	116.8
1.0	20.5	16.1	9.6	116.9
2.0	18.9	25.6	10.6	132.6
3.0	18.2	28.6	10.8	136.8
4.0	18.0	29.7	10.4	131.3
5.0	18.1	30.3	9.8	125.1
6.0	18.0	30.4	9.7	123.1
7.0	17.7	30.7	9.4	118.9
8.0	17.4	31.1	9.0	113.8
9.0	16.8	31.4	8.7	109.2
10.0	15.9	32.2	7.8	95.8
11.0	15.7	32.4	7.2	88.0
12.0	15.6	32.5	6.8	83.5
13.0				
14.0				
15.0				
16.0				
17.0				
18.0				
19.0				
20.0				
海底面上1.0	15.2	32.4	6.3	77.3

海域生態系様式第8号

水産生物調査結果（小型底曳網調査②） [令和7年5月分]

調査日：令和7年5月24日

調査点：8

項目 水深[m]	水温[°C]	塩分[-]	DO[mg/l]	DO飽和度 [%]
0.5	19.6	19.5	6.6	81.1
1.0	18.1	29.4	6.3	79.7
2.0	17.4	30.6	6.4	80.8
3.0	17.3	31.0	6.2	77.6
4.0	16.9	31.5	6.1	76.8
5.0	16.4	31.9	5.7	70.2
6.0	16.2	32.1	4.9	60.7
7.0				
8.0				
9.0				
10.0				
11.0				
12.0				
13.0				
14.0				
15.0				
16.0				
17.0				
18.0				
19.0				
20.0				
海底面上1.0	16.2	32.1	4.9	60.8

海域生態系様式第8号

水産生物調査結果（小型底曳網調査②） [令和7年5月分]

調査日：令和7年5月24日

調査点：9

項目 水深[m]	水温[°C]	塩分[-]	DO[mg/l]	DO飽和度 [%]
0.5	19.6	17.1	6.5	79.1
1.0	17.9	29.6	5.9	74.2
2.0				
3.0				
4.0				
5.0				
6.0				
7.0				
8.0				
9.0				
10.0				
11.0				
12.0				
13.0				
14.0				
15.0				
16.0				
17.0				
18.0				
19.0				
20.0				
海底面上1.0	17.8	29.9	5.9	74.4